

児童憲章

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として重んぜられる。

児童は、よい環境の中で育てられる。



登米市保育基本方針

(平成28年2月策定)

1 保育理念

子どもたち、一人一人が心身ともに健やかに育つ環境づくりに努め、豊かな人間性を育成するとともに望ましい未来を創りだす力の基礎を養う。

2 保育方針

豊かな自然環境に恵まれた水の里と伝統文化の中で、養護と教育が一体となった保育を通して子どもの健やかな育ちを支え、生きる力の基礎を育む。

- (1) 基本的な生活習慣を身に付け、健康な心と体を育てます。
- (2) 安全で安心できる生活の場を整え、子どもが自己を発揮できるようにします。
- (3) 地域の人々や子ども同士のかかわりを大切にし、社会性やこころを育てます。
- (4) 家庭や地域と連携し、保護者の気持ちに寄り添いながら、子育て支援を行います。
- (5) さまざまな体験を通して、豊かな感性や表現力を培い、創造性の芽生えを育みます。



1 設置運営主体

(令和6年2月1日現在)

名 称	登米市	代表者氏名	市長 熊谷 盛廣
所在地	登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1	電話番号	0220-22-2111

2 利用施設

名 称	登米市よねやま保育園		
所 在 地	登米市米山町西野字古館廻56番地3		
電 話 番 号	0220-55-3790 (FAX 0220-55-3790)		
ホームページURL	http://www.city.tome.miyagi.jp/kosodateshien/kurashi/fukushi/jido/hoikusyo/index.html		
メールアドレス	yoneyama-hoiku@city.tome.miyagi.jp		
事業認可年月日	昭和57年4月8日		
施設長氏名	園長 笹原 洋理子		
利用定員 (R5年度在籍数)	0歳児 9名, 1歳児15名, 2歳児18名 3歳児22名, 4歳児20名, 5歳児25名 計109名		
実施する保育事業	保育園		
自己評価の概要	自己評価を実施し、職員の資質及び保育サービスの向上に努めています。		
第三者評価の概要	未実施		
職員研修の 実施状況	職種・経験に基づき、内部研修(年3~4回程度)の実施と外部研修を積極的に受講し、各自の保育技術や保育の質の向上に努めています。		
嘱託医	(内科医) 石澤 志信 登米市民病院 (歯科医) 原 敬 はら歯科医院		

3 運営方針等

施設の目的	児童福祉法に基づく、乳児及び幼児の保育を行う。	
基本目標	『健康な体』と『豊かな心』を育み、生きる力の基礎を培いながら、心身ともに健やかな子どもの育成に努める。	
具 体 目 標	◆目指す子ども像	◆具体的な子どもの姿
	<ul style="list-style-type: none"> ・健やかにのびのび育つ子ども ・身近な人と気持ちが通じ合う子ども ・身近なものと関わり、感性が育つ子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・のびのびと体を動かして遊ぶ ・基本的生活習慣や態度を身に付ける ・感謝の気持ちをもち、楽しく食べる ・いたわりや思いやりの気持ちをもつ ・親しみをもって話を聞いたり相手に分かるように話す ・物事に自信をもって意欲的に取り組む ・工夫したり協力したりしながら友達と仲良く遊ぶ ・自分の力で主体的に行動する充実感を味わう

4 開園日・保育を提供する時間・休園日等

開 園 日	月曜日～土曜日	
保育を提供する時間	保育標準時間認定の場合	午前7時30分～午後6時30分(11時間)
	保育短時間認定の場合	午前8時00分～午後4時00分(8時間)
登 園 時 間	午前9時まで登園してください。	
休 園 日	日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)	
その他	行事によっては、行事後に保育を行わない日もあります。 災害等が発生し、受け入れに困難が生じた場合は保育を行わない場合があります。	

- ① 土曜日は、お子さんとご家族との触れ合う時間を多くもっていただきたいことから、希望保育として実施しています。保育を希望される場合は「土曜保育申請書」に記入し、利用する週の月曜日～火曜日までに職員へ提出してください。※離乳食のあるお子さんの場合は月曜日の9時まで提出になります。
- ② 欠席、または遅れる場合は、おやつや給食の準備の都合上、午前8時45分まで連絡してください。なお、離乳食、アレルギー除去食のお子さんが欠席する場合は、8時30分まで連絡をお願いします。
【連絡先】よねやま保育園 Tel：0220（55）3790

③ 新入园児の慣らし保育

期 間	降園時間	給 食	備 考
4/3(水)・4(木)・5(金)	11時	食べません。	4/11(木)から 通常保育となります。
4/8(月)・9(火)・10(水)	12時	食べます。	

④ 送迎について

- (1) お子さんの送迎は、ご家庭で責任をもって行ってください。なお、ご家族であっても未成年者による送迎はお断りしています。※年齢を確認することがあります。
- (2) 家族以外の方が迎えに来る時や、いつもの時間と違う場合は必ず保育園に連絡をお願いします。
- (3) 通院や家庭の都合で午前11時までに登園できない場合は、食中毒予防と配膳の都合上給食の提供はできませんので、昼食を済ませてから登園してください。
- (4) 駐車場は、保護者駐車場(園舎南側)を利用してください。事故防止のため、車の乗降は必ずお子さんの手を取り、安全に注意してください。園庭に入るまでと車に乗車するまではしっかりと手をつないで移動するようにお願いします。
- (5) 保護者駐車場(園舎南側)の門は、午前9時から午後3時30分までは施錠しています。それ以外の時間に来園される場合は、インターフォンを鳴らしてから職員駐車場側の西門からお入りください。
- (6) 3歳未満児クラスのお子さんは登園時におむつの汚れを確認し、汚れている場合は取り替えてから保育士等へ引き渡してください。
- (7) 送迎時は必ず職員に声をかけ、登園・降園した(する)ことをお知らせください。また、お子さんと手をつなぎ、安全確保にご協力ください。
- (8) テラスは土足厳禁となっておりますが、雨や雪などでテラスが濡れているときは、靴のままテラスに上がっていただき、玄関入口で靴を脱いでからお入りください。その際、靴は玄関入口には置かず、玄関ホール内の置き場所に置いてください。
- (9) 家庭でのけがなどがあった場合は発生状況や状態、通院の有無をお知らせください。
- (10) 登降園する際は必ず正面玄関から入っていただき、事務室前に置いてある“登降園打刻システム”のタブレットで登降園時刻の打刻をお願いします。



5 施設の概要

敷 地	4413.86 m ²
建 物	鉄骨造 平屋建 (建物面積) 904.77 m ²
施設の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児室・ほふく室 1室 102.06 m² ・調乳室 1室 4.86 m² ・保育室 5室 256.5 m² ・幼児用トイレ 5室 ・遊戯室（ホール） 1室 126.3 m² ・調理室 1室 38.8 m²
設備の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房 ・プール（屋外設備型） ・蓄熱式床暖房（乳児室・ほふく室） ・天吊りパネルヒーター（トイレ3か所）
屋外遊技場	・園庭 2000 m ²

6 職員体制

（令和6年2月1日現在） （単位：人）

職 種	員 数	うち常勤	うち非常勤	うち有資格者数
園 長	1	1		保育士1
副 園 長	1	1		保育士1
主任保育士	1	1		保育士1
保 育 士	17	6	11	保育士17
保育士補助	2		2	
栄 養 士	1（兼）	1（兼）		栄養士1
調 理 員	4	2	2（パート）	調理師2
計	27	12	15	23

7 保護者の負担

○保育料(利用者負担額)は登米市が決定します。

※市外の方が利用する場合は、居住地の決定額になります。

※納付書または口座振替で登米市へ納入していただきます。（納期：毎月25日）

○3歳以上児の給食費について（3歳以上児は保育料が無償ですが、給食費が発生します。）

主食費（ご飯・パン代）：月額500円・副食費（おかず代）：月額4,500円

※年収360万円未満の世帯は、副食費が免除されます。

※納付書または口座振替で登米市へ納入していただきます。（納期：毎月25日）

○実費徴収負担額（令和5年度）

※独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済掛金（年額）210円

※保護者会費：全児童 年間4,400円（5月2,200円・9月2,200円）

※金額が変更になる場合があります。

※クラス帽子：新入園児のみ 1, 100円

※絵本代：毎月450円程度 年齢により異なります。（0歳児～5歳児）

※その他、園外保育行事の際に実費負担がある場合があります。

その都度集金袋にて集金させていただきます。



8 公立保育所(園)・こども園の食事について

1 食育目標

- ①「はやね・はやおき・あさごはん」を推進し、よい食習慣と健康な体をつくる
- ②栽培、収穫、料理等の体験や給食を通じて「食」への関心を高める
- ③地域の食材や地域に根ざした料理を取り入れ、食文化にふれる
- ④「食」に対する感謝の気持ちを育て、豊かな心を育む




2 給食の配慮点

- ① ごはん食(日本型の食事)を中心として、四季折々の野菜・果物を使用し、行事食を取り入れます。
- ② 食文化の一つである天然だしを使用し、素材の持ち味を生かした「薄味」とします。
(味噌汁は0.4～0.5%塩分)
- ③ 不足しがちな魚、大豆製品、野菜、海藻等、また地元の特産物や昔から伝わる家庭料理を積極的に取り入れます。
- ④ 給食や食に関する様々な体験を通して食べることの大切さや楽しさを感じられるよう配慮します。
- ⑤ 児童の年齢や個人差に応じて計画的・段階的に子どもたちにはたらきかけを行います。



3 給食の提供内容

区 分		午前のおやつ	昼 食	午後のおやつ
離乳食	7～8か月頃	ミルク	離乳食＋ミルク	ミルク
	9～11か月頃	有		有
	12か月頃（誕生月の翌月まで）			
3歳未満児		有		有
3歳以上児		無		
			完全給食 （主食・おかず・汁物）	

* 主食は白ご飯ですが月に2回程度は麦ごはんになります。

* 土曜日も給食を提供しますが簡易なものとなります。



(1) 3歳以上児の箸の持参

箸は木製か竹製のものが使いやすく、箸先に滑り止めがついているものがよいでしょう。
箸ケースにいれて持参してください。

(2) 誕生会 第3木曜日

行事食です。都合により誕生会の日程が変更になることがあります。

(3) 11時以降の登園の場合

食中毒予防と配膳の都合上、昼食を済ませて登所願います。

お願い

○毎月、献立表と食育だよりを発行しますので目を通していただきますようお願いします。

○朝食は子どもの成長と活動に不可欠です。必ず朝食をとって登所するようお願いします。

食物アレルギーで給食に除去が必要な場合

基本的に一年に一度、医師の記入したアレルギー疾患生活管理指導表と除去食の依頼書等を提出していただき対応します。(用紙は施設にあります)ただし、お子さんの安全を確保するため、除去の内容によっては弁当持参となる場合があります。弁当持参の場合、保育料・副食費は減額になりませんので予めご了承ください。

9 公立保育所(園)・こども園の離乳食について

生後5～6か月から、ご家庭で離乳食を開始していただくことが第一となります。

お子さんの唇や舌の動きを見ながら、「カミカミしようね」などと声をかけながら、楽しい雰囲気で見られるように心がけましょう。

「授乳・離乳の支援ガイド(厚労省)2019年3月改訂」をもとに、個人の状況を踏まえて、保護者の皆様と相談しながら離乳食を提供します。

アレルギー予防の観点から、給食で初めて食べる食材がないようご家庭で月齢に合わせて与えておいてください。

【離乳食の流れ(目安)】※授乳・離乳の支援ガイドより

	午前のおやつ	昼食		午後のおやつ
		内 容	形 状	
7～8か月頃	ミルク	離乳食 +ミルク	舌でつぶせる固さ (豆腐状)	ミルク
9～11か月頃	果物 赤ちゃんせんべい等		歯ぐきでつぶせる固さ (バナナ状)	果物 赤ちゃんせんべい等
12か月頃	果物 赤ちゃんせんべい等 プレーンヨーグルト		歯ぐきで噛める固さ (肉だんご状)	果物 赤ちゃんせんべい等 プレーンヨーグルト

■ 離乳食の開始

基本的には生後7か月(2回食移行期)から開始し13か月目までを離乳食とします。

例) 4月生まれのお子さんの場合は、5月いっぱい離乳食となり、6月から幼児食に移行します。

■ 離乳食の形状

「離乳・授乳の支援ガイド」の目安をもとに、個人の発育・発達や食べ方を考慮し、形状を調整し提供します。

■ 離乳食の味つけ

それぞれの食品のもつ味を生かしながら、うす味で提供します。

■ 天然のだし

煮干し、削り節、こんぶ等でとった出汁を使用しています。



■ それぞれの味を感じられるような配慮

基本的に主食、主菜、副菜、汁物のそれぞれの持ち味を味わえるようにします。

■ 離乳期のおやつ

公立保育所(園)・こども園では9か月からおやつを提供します。本来1歳くらいまでは、離乳食と授乳で十分な栄養がとれるため、おやつは必要ないとされていますが、食べる楽しみを味わってもらうため少量を提供します。

12か月からは幼児食への移行準備としておやつに「プレーンヨーグルト」も提供します。

ご家庭であらかじめ食べさせてアレルギー等の確認をしてください。

■ 牛乳への移行

フォローアップミルクは母乳ではなく、牛乳の代替品(同じような成分)であるため、施設では1歳まで育児用粉ミルクでの対応となります。1歳のお誕生日を迎えたお子さんは、家庭で牛乳を少しずつ試していただき、**異常がないことを確認しましたら、幼児食への移行とともに牛乳を提供します。**

ご家庭へのお願い

- ★ 大人と同じような味付けは、お子さんの体に負担がかかります。薄味にご協力ください。
- ★ 離乳食は、いすに座って食べさせるようにしましょう。お子さんの唇や舌の動く様子がよく見えます。
- ★ 1歳のお誕生日までに起きる時間、寝る時間、3回の食事リズムを整えていきましょう。
- ★ 1歳のお誕生日を迎えたら、牛乳を少しずつ飲ませてみましょう。
- ★ 子ども用のイオン飲料や100%果汁のジュースも糖分が含まれるため、ミルクや離乳食をとらない原因になることがあります。水分補給としてあげる時は湯ざましや麦茶がよいでしょう。
- ★ お子さんの体調の変化や食事で心配なことはクラス担任を通じてお気軽にご相談ください。

10 保育計画

クラス	目 標
0 歳児	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生活リズムを大切にしながら、生理的欲求(食事・排泄・睡眠など)を満たし、安全で清潔な環境の中で過ごせるようにする。
1 歳児	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の気持ちを受け止め、安定した生活ができるようにする。 保育士等の見守りの中で友達に関心がもてるようにする。
2 歳児	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の思いを受け止め、安定した生活を送ることができるようにする。 簡単な身の回りの生活習慣(食事・排泄・着脱)を自分でしようとする。 自分の思いを言葉で伝えようとする。 全身を使い、伸び伸びと遊びを楽しむ。
3 歳児	<ul style="list-style-type: none"> 健康で安全な環境をつくり、情緒の安定を図る。 基本的な生活習慣を身に付け、楽しく生活する。 友達とかかわる中で、一緒に遊ぶ楽しさを知る。
4 歳児	<ul style="list-style-type: none"> 健康で安全な環境の中で、情緒の安定を図る。 いろいろな経験を通して日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 身近な環境に興味や関心をもち、感じたことや想像したことなどをいろいろな方法で表現する楽しさを味わう。 いろいろな遊びを通して友達との関わりを広げる。
5 歳児	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな経験を通して、健康な心と体を養う。 友達と園生活を楽しみ、いろいろな遊びを意欲的に行うとともに基本的な生活習慣や態度を身に付ける。 自然や身近な事象に興味・関心をもち、発見や疑問、気付きから知的探究心を高めていく。 自分の思いや欲求、経験を言葉で表現する楽しさを味わう。



11 年間行事予定

4 月	入園式 ジャガイモ植え 保育参観(保護者会総会) 5 歳児園外保育(平沼沼)
5 月	健康診断(内科・歯科) 春の交通安全教室 幼年消防任命式 サツマイモ苗植え 早朝作業
6 月	5 歳児園外保育(いちご狩り) 保幼交流(米山幼稚園来園) 尿検査 5 歳児地域交流(特別養護老人ホーム「にしの」) プール開き 遊ぼう会① 人形劇鑑賞会
7 月	七夕会 5 歳児園外保育(三滝堂沢遊び) ジャガイモ掘り 総合避難訓練 夏祭り(保護者会)
8 月	4 歳児園外保育(三滝堂沢遊び) プール納会
9 月	秋の交通安全教室
10 月	運動会 3 歳児園外保育 サツマイモ掘り 健康診断(内科・歯科) 尿検査 2 歳児園外保育 4 歳児園外保育 4・5 歳児園外保育(りんご狩り) やきいも会
11 月	5 歳児園外保育(絵本原画展見学) 総合避難訓練 保幼交流(米山幼稚園へ訪問)
12 月	生活発表会 4 歳児デイ交流 5 歳児園外保育(仙台うみの杜水族館) クリスマス誕生会
1 月	保育参観・懇談会 5 歳児米岡小交流会(1 年生来園) 遊ぼう会②
2 月	豆まき会 5 歳児保幼小交流会(米岡小訪問) 一日入園(新入園児) 幼年消防退団式
3 月	ひなまつり誕生会 お別れ会(バイキング給食) 修了式(5 歳児) 在園児修了式(0~4 歳児)
毎 月	身体計測 避難訓練 誕生会 【その他】災害時引き渡し訓練(中学校区合同) ALT 訪問 クッキング等 不審者対応訓練 J アラート対応訓練 洪水対応訓練

12 健康診断等

健康診断	年2回（5月・10月）、嘱託医による健診を行います。 結果については健康管理票に記録し、各家庭にもお知らせします。
身体計測	毎月1回、身長・体重の計測を行います。 結果については健康管理票に記録し、連絡帳に記載してお知らせします。

13 毎日の保育の流れ

時 間	未満児（0～2歳児）保育内容	以上児（3～5歳児）保育内容
7:30 8:00	保育標準時間（11時間）利用児登園 保育短時間（8時間）利用児登園 （健康観察・好きな遊び）	
9:30	おやつ 各クラスの活動計画に沿った保育	各クラスの活動計画に沿った保育
11:00	おむつ交換・排泄・給食	給食準備・給食
12:00	おむつ交換・排泄・午睡	午睡準備・午睡
14:45 ～15:00	起床・おむつ交換・排泄・おやつ	起床・おやつ
16:00	降園準備・帰りの会	降園準備・帰りの会
↓ 18:30	 保育短時間（8時間）利用園児 降園 保育標準時間（11時間）利用園児 降園	

14 利用施設と保護者の連絡

- (1) 児童の保育中の状況や家庭での状況を相互に連絡し合うために、リズム表や連絡帳を活用します。
- ・リズム表（0～2歳の誕生月まで）：体温、食事、排便や児童の様子をできるだけ詳細に記入してください。
 - ・連絡帳（2歳の誕生月翌月～5歳児）：体調や生活の様子など、担任に伝えたいことがある場合に記入してください。
- ※ご家庭でのけが等について：発生状況や状態を詳しくお知らせください。
- (2) 園だよりやクラスだよりを月1回程度発行、また、保育室のホワイトボード等で連絡事項やクラスの様子をお知らせします。
- (3) 緊急時の連絡用のメール登録をお願いしています。月1回の配信と必要に応じての連絡メールを配信しています。登録の仕方は入園後にお知らせします。

15 入園時に必要な書類・保護者が用意する物

- (1) 入園時に必要な書類：児童生活調査票（病歴・予防接種記録・アレルギー等、家族状況・連絡先 他）、食事調査票（お子さんの食事について）
- (2) 着脱しやすく、動きやすい服装で登園させてください。（フード付き上着やスカート、ワンピースなどは事故防止のため避けてください。また、ヒモは外すか、付いていないものをお願いします。）
- (3) 布団は毎週金曜日に持ち帰り日光消毒し、カバーは洗濯して布団に掛け、月曜日に持ってきてください。
- (4) 上靴は毎週金曜日に持ち帰り、きれいに洗ってきてください。
- (5) すべての持ち物に名前を記入しましょう。

3 歳未満児のお子さんについて

* 午前と午後のおやつ、そして昼食時の 3 回分のエプロンを使用し、衛生上使用済みの物はその都度ビニール袋に入れてお返ししますのでお家で洗濯し、次の日はまた乾いたエプロンを 3 枚持ってきてください。コップも毎日持ち帰りますので、きれいに洗って次の日持ってきてください。(2 歳児はエプロンは使用しません)

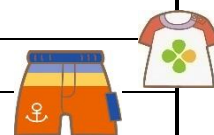
◆0、1 歳児が用意する物

着 替 え	下着と服 (上下)・・・ 各 3～4 組 ※ロンパースなどの上下つながった服以外の物をお願いします。
取っ手付きビニール袋(レジ袋)	汚れ物を入れるレジ袋大 (No.30、10ℓ 用サイズの持ち手の付いたもの) に名前を記入し毎日フックに掛けていってください。
ビニール袋	汚れ物を入れます。100 枚程度の箱入り M か L サイズを用意してください。
ウェットティッシュ	口の周りや手を拭くのに使用します。※名前を記入して個人で使用します。取り出し口に蓋を付けてきてください。(ロッカーに予備を 1 つ入れておき、なくなったら補充)
コップ (1 歳児のみ)	1 個 (毎日持ち帰り洗います。) *コップ袋を用意してください。
外 靴	戸外で遊んだり、散歩に行く時に使用 (0 歳児は状況を見て担任からお知らせします) 毎週持ち帰り、きれいに洗ってください
箱ティッシュ	1 箱 (名前を記入し個人ロッカーに入れ、なくなったら補充してください。)
布 団	子ども用タオルケット、敷き布団 (取り外しのできるカバーを付ける) ベビー毛布 (季節に応じて)
おむつ、おむつ交換用マット	おむつは 8 枚以上 (1 枚ずつに太マジックで名前を記入)。 おむつ交換用マット (防水性のもの) は洗濯できる袋に入れ、どちらも毎日洗濯・交換する。(エコバッグ等: 縦 (紐も含む) 40～50cm×横 25～30cm 程度)
おしり拭き	取り出し口に蓋を付けてきてください。(ロッカーに予備を 1 つ入れておき、なくなったら補充)
食事用エプロン	市販の物で構いません。毎日洗濯して乾いた物 (3 枚)
絵本バッグ	布製の取っ手付きバッグ (32cm×42cm くらい)



◆2 歳児が用意する物

着 替 え	下着と服 (上下)・・・ 各 2～3 組
取っ手付きビニール袋(レジ袋)	汚れ物を入れるレジ袋大 (No.30、10ℓ 用サイズの持ち手の付いたもの) に名前を記入しロッカーの中に入れておいてください。
ビニール袋	汚れ物を入れます。100 枚程度の箱入り M か L サイズを用意してください。
ウェットティッシュ	口の周りや手を拭くのに使用します。※名前を記入して個人で使用します。取り出し口に蓋を付けてきてください。(ロッカーに予備を 1 つ入れておき、なくなったら補充)
コ ッ プ	1 個 (毎日持ち帰り洗います) *コップ袋を用意してください。
外 靴	足のサイズに合ったズック靴 (クロックス不可)
箱ティッシュ	1 箱 (名前を記入し個人ロッカーに入れ、なくなったら補充してください。)
布 団	子ども用タオルケット、敷き布団 (取り外しのできるカバーを付ける) ベビー毛布 (季節に応じて)
おねしょマット	敷布団カバーの中に敷いてきてください。 (4 月からは使いませんが、状況を見て担任からお知らせします)
布パンツ	枚数は個々に応じてお知らせします。 (4 月からは使いませんが、状況を見て担任からお知らせします)
おむつ	6 枚程度・・・ 1 枚ずつに太マジックで名前を記入



おむつ交換用マット	おむつ交換用マット（防水性のもの）は洗濯できる袋に入れ、どちらも毎日洗濯・交換する。（エコバッグ等：縦（紐も含む）40～50cm×横25～30cm程度）
おしり拭き	取り出し口に蓋を付けてきてください。（ロッカーに予備を1つ入れておき、なくなったら補充）
か ば ん	リュックサック（キーホルダー等の飾りは付けしないでください。）
絵本バッグ	布製の取っ手付きバッグ（32cm×42cmくらい）

3歳以上児のお子さんについて

*昼食時と午後のおやつの2回おしぼりを使用し、衛生上使用済みの物はその都度ビニール袋に入れてお返ししますのでお家で洗濯し、次の日はまた乾いたおしぼりを2枚持ってきてください。

*コップ・箸・箸ケースは毎日持ち帰り、きれいに洗って次の日に持ってきてください。

◆3、4、5歳児が用意する物

着 替 え	下着と服（上下）・・・各2～3組 靴下・・・2足
取っ手付きビニール袋(レジ袋)	おしぼりを入れるレジ袋小（SS または S サイズ）の持ち手の付いたものに名前を記入し毎日フックに掛けていってください。 また、衣服が汚れた際に入れるレジ袋大(M または L サイズ 2～3枚)をロッカーへ入れてください。
ビニール袋	汚れ物を入れます。100枚程度の箱入りMかLサイズを用意してください。
おしぼり	洗濯して乾いたものを毎日2枚
コ ッ プ	1個（毎日持ち帰り洗います。）*コップ袋を用意してください。
外 靴	足のサイズに合ったスニーカー（クロックス不可）
箱ティッシュ	1箱（名前を記入し個人ロッカーに入れ、なくなったら補充してください。）
布 団	子ども用タオルケット、敷き布団（取り外しができるカバーを付ける）ジュニア毛布（季節に応じて）
おねしょマット	おねしょをする心配のあるお子さんだけ（敷布団カバーの中に入れる）おねしょをした場合に入れる大きめのポリ袋をロッカーに入れてください。
箸と箸ケース	箸は木製か竹製のもので、出し入れしやすい箸ケースに入れてください。 *布製の巾着袋に入れてください。
か ば ん	リュックサック（キーホルダー等の飾りは付けしないでください。）
上靴・上靴入れ	バレシューズ等（毎週金曜日に持ち帰り洗います。）
パジャマ （4、5歳児）	自分で出し入れしやすい布袋に入れる。
絵 本 バッグ	布製の取っ手付きバッグ（32cm×42cmくらい）



◆全体で集めるもの

<各クラス共通>

- ・そうきん 2枚 ・フェイスタオル 1枚
- ・ボックスティッシュ 2箱
- ・取っ手付きレジ袋（No.30 約10ℓ）100枚綴り 1袋



※いずれも名前は書かないでください

*4月8日(月)までお持ちください。

16 利用の終了に関する事項

右記の場合は、保育の提供を終了します。	(1) 児童の保護者が、児童福祉法または子ども・子育て支援法に定める保育を必要とする事由に該当しなくなったとき (2) その他、利用の継続について重大な支障または困難が生じたとき
---------------------	--

17 利用に際し留意していただきたいこと

(1) 登園前に必ず体温や健康状態等の確認を行ってください。

○ 朝 37.5℃以上ある場合は登園を控えて、様子を見てください。

○ 保育中に発熱 (37.5℃以上)・下痢・嘔吐・歯痛など体調が悪い場合は、連絡しますので迎えをお願いします。

37.5℃未満でも食欲がなかったり、熱性けいれんを起こしやすいお子さんの場合には連絡をします。

○ 緊急連絡先の電話番号を3か所までお知らせください。(変更の場合は速やかにご連絡ください) また、必ず繋がる番号を届け出てください。

○ 小児ぜん息・ひきつけ・熱性けいれん・ヘルニア・アレルギー・脱臼・じんましん・薬品にまけやすい等、持病のあるお子さんは面談の際にお知らせください。またその際、家庭で行っている応急手当の仕方もお知らせください。

○ 衣服・皮膚・頭髮・爪等は常に清潔にしてください。

○ 家庭での排便は精神的に安定感を与えますので、毎日家庭で済ませるよう習慣付けましょう。

排便の状態は、健康状態を判断する目安となります。よく観察し、異常がある場合は保育士等にお知らせください。

○ パンやお菓子など、食べながらの登園はさせないでください。

○ 集団生活なので、多少のケガやすり傷などはご了承ください。

○ 予防接種後は安静をとり、ご家庭で様子を見ていただくようにご協力をお願いします。



(2) 投薬について

医療行為に当たるため原則行えません。止むを得ず保育園での服用が必要な場合は、医師の処方を受けた薬に限り、医師の指示に基づき対応することができます。(資料1)

① 保育園に置いてある「与薬依頼票」(資料2)に指定時間や用途等を記入し、「薬剤情報提供書」(処方箋)を添えて直接職員に手渡してください。

② 忘れずに確認してください。

③ 袋や容器には必ず 1回分のみの薬を入れ、お子さんの名前を明記してください。

①～③までそろっていない時は投与できないこともありますので気を付けてください。

※市販の薬、座薬、解熱剤、鎮痛剤は受け付けませんのでご了承ください。



(3) 子どもに多い感染症について

学校保健法では、感染症にかかった時は出席を停止しなければならないことを定めていますが、保育園もこれに準じています。

次ページの病気に罹患した場合には、保育園から「登園届について」(資料3)の用紙をお渡しします。登園する時は医師の許可を得てから「登園届」に保護者が記入・捺印して提出してください。

※医師の診断書は必要ありません。

◆出席停止となる感染症

麻疹	流行性角結膜炎
インフルエンザ	百日咳
風しん	急性出血性結膜炎
水痘（水ぼうそう）	侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	腸管出血性大腸菌感染症
結核	（O157 O26 O111）
咽頭結膜熱（プール熱）	新型コロナウイルス感染症

◆医師の診断により場合によっては出席停止となる感染症＞

溶連菌感染症	突発性発しん
ヘルパンギーナ	RSウイルス感染症
マイコプラズマ肺炎	帯状疱疹しん
手足口病	ウイルス性胃腸炎
伝染性紅斑（リンゴ病）	（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等）

厚労省「保育園における感染症対策ガイドライン」より



18 緊急時の対応

- (1) 保育中にけがや容体の急変などがあった場合は、あらかじめ保護者が指定した緊急連絡先順に連絡をし、主治医あるいは嘱託医への連絡を取るなど必要な措置を講じます。
- (2) 保護者や緊急連絡先との連絡が取れない場合は、児童の身体の安全を優先させ、当施設が責任をもってしかるべき対応を行いますので、あらかじめご了承ください。

嘱託医	氏 名	登米市民病院小児科	電話
	所在地	登米市迫町佐沼字下田中25	0220-22-5511
救急隊	管轄消防署名	登米市消防署 南出張所	119番通報
	所在地	登米市豊里町十丁田 1-3 番地	電話 0225-76-4119
警察署	管轄警察署名	佐沼警察署 （米山駐在所 55-2110）	110番通報
	所在地	登米市迫町佐沼中江 5-11-5 番地	電話 0220-22-2121

19 非常災害時の対応

- 震度5弱以上の大規模地震や洪水が発生した場合、その他災害時（風水害、Jアラート発令時等）状況に応じて保護者のお迎えをお願いします。（登米市保育園統一基準）
- 子どもの安全に関わる緊急事態が生じた場合の情報伝達をする『連絡メールシステム』に登録をお願いします。
- 火災及び地震を想定した避難訓練を毎月実施します。
 - *第1避難場所：保育園 園庭
 - *第2避難場所：職員駐車場
 - *災害時避難場所は、米山公民館になります。
- この他にも、Jアラート対応避難訓練や、災害時引渡し訓練などを実施します。

20 児童の環境を守るための対応

家庭内において、DV や虐待などの恐れがあると感じられた際は、当施設から市や県の関係機関へ通報することがありますので、あらかじめご了承ください。

21 保育内容に関する相談・苦情

施設利用における苦情・ご意見・ご要望については、苦情受付担当者または第三者委員までお申し込みください。詳細は、掲示コーナーに掲示している「苦情解決制度について」をご覧ください。

22 賠償責任保険の加入

登米市では、施設の管理下の事由による負傷・疾病などの災害に対処するため、独立行政法人日本スポーツ振興センターが運営する「災害救済給付制度」に加入しています。

23 個人情報の取り扱い

保育を提供する上で知り得た児童、保護者及び家族の情報を秘密として扱い、次の目的の場合を除き、同意なく第三者への提供はいたしません。

- ◎児童の保育、健康・安全管理 ◎法令に基づく要請 ◎保育提供について他の機関との連携
- ◎個人を特定しない統計データ活用 ◎未納額の請求、徴収

24 重要事項に対する同意

本書の内容及び個別の施設利用内容に対して同意をいただくことで、当施設を利用していただけます。

25 その他

- 登園時は、必ず名札をつけてください。紛失した場合は購入していただきます。
- 登園時には履き慣れた運動靴を履いて登園させてください。サンダルやクロックスは危険が伴いますので、履かせないでください。
- 住所・保護者の勤務先・健康保険証・電話番号・家族構成等に変更が生じた場合は、すみやかに保育園に連絡願います。また、住所・保護者の勤務先・家族構成に変更が生じた場合は、最寄りの支所に申立書を提出してください。
- 保育園からの諸連絡については、園だより、クラスだより、給食だより、献立表、各クラスのホワイトボードへの掲示等の方法で行いますので必ずご覧ください。



保護者の皆さんへ

登米市公立保育所（園）・こども園

保育所（園）・こども園でのくすりの取り扱いについて

1. お子さんのくすりは、本来は保護者が登所（園）して与えていただくのですが、緊急やむをえない理由で保護者が登所（園）できないときは、保護者と保育所（園）・こども園で話合いのうえ、担当者が保護者に代わって与えます。この場合は、万全を期するため「与薬依頼票」に必要事項を記載していただき、くすりに添付して保育士に手渡していただきます。なお、「与薬依頼票」は保育所（園）・こども園に保管しますので必ず使用後は戻して下さい。
2. くすりは、お子さんを診察した医師が処方し調剤したもの、あるいはその医師の処方によって薬局で調剤したものに限ります。
3. 保護者の個人的な判断で持参したくすりは、保育所（園）・こども園としては対応できません。
4. 座薬・解熱剤・鎮痛剤の使用は、原則として行いません。
5. 慢性の病気（気管支喘息・てんかん・糖尿病・アトピー性皮膚炎などのように経過が長引くような病気）の日常における投薬や処置については、国の保育所保育指針によって、子どもの主治医または嘱託医の指示書に従うとともに、相互の連携が必要です。
6. 持参するくすりについて
 - ① 医師が処方したくすりには必ず、「与薬依頼票」・「薬剤情報提供書」（処方箋）を添付して下さい。
 - ② 使用するくすりは1回分ずつに分けて、当日分のみご用意下さい。
*アレルギーの緊急対応のくすりの依頼については保育所（園）・こども園にご確認ください。
 - ③ 袋や容器にお子さんの名前を記載して下さい。
7. 主治医の診察を受けるときは、お子さんが現在〇〇時から〇〇時まで保育所（園）・こども園に在園していることと、施設では、原則としてくすりの使用ができないことをお伝え下さい。

与薬依頼票(保護者記載用)

- *くすりは必ず保育士に手渡し、受け取った際に確認させていただきます。
- *1回分のくすりを容器に入れ、名前も記入ください。
- *薬剤情報提供書(処方箋)も添付してください。(処方期間が過ぎた薬は与薬できません)
- *この与薬依頼票は、保育所(園)・こども園に保管しますので使用後は戻してください。
- *ボールペンでの記入をお願いします。
- *この用紙はコピーしないで保育所(園)に申し出てください。

依頼日	令和 年 月 日 ()	依頼先	登米市 保育所 (園)
依頼者	()組 園児氏名 (男 ・ 女) 保護者氏名		
病院名	病院・医院		
病名(症状)			
投与期間 (医師の指示する期間)	<div>飲み始め</div> <div>令和 年 月 日 (朝・昼・夕) ～ 令和 年 月 日 (朝・昼・夕)</div> <div>飲み終わり</div>		
投与時間	昼食前 ・ 昼食後 ・ その他()		
保管	室温 ・ 冷蔵庫 ・ その他()		
剤型・数量	粉(包) ・ 液(シロップ) ・ 錠剤(粒) ・ 外用薬 (ぬり薬 ・ 目薬)		
くすりの内容	抗生物質 ・ 咳止め ・ 整腸剤 ・ かぜ薬 ・ 外用薬() ・ その他()		
投 薬 方 法	そのまま飲む ・ 水に溶く ・ その他()		

[illegible]

登所（園）届について

保育所・こども園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人一人の子どもが一日快適に生活できることが大切です。

入所児がよくかかる下記の感染症については、医師の診断に従い、登所（園）届の記入・提出をお願いします。

なお、集団生活に適応できる状態に回復してから登所（園）するよう、ご配慮ください。

○特に注意すべき感染症

麻疹	流行性角結膜炎
インフルエンザ	百日咳
風疹	急性出血性結膜炎
水痘（水ぼうそう）	侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	腸管出血性大腸菌感染症
結核	新型コロナウイルス感染症
咽頭結膜熱（プール熱）	

○注意すべき感染症

溶連菌感染症	ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス ロタウイルス アデノウイルス等）
ヘルパンギーナ	RSウイルス感染症
マイコプラズマ肺炎	带状疱疹しん
手足口病	突発性発しん
伝染性紅斑（りんご病）	

「保育所における感染症対策ガイドライン(2018年改訂版) こども家庭庁 2018(平成30)年3月(2023(令和5)年5月一部改訂(2023(令和5)年10月一部修正)より)」

きり

登所（園）届（保護者記入）

所（園）長 あて

組 児童名

令和 年 月 日病名「 」と診断され、
医療機関名「 」において、令和 年 月
日病状が回復し集団生活に支障がない状態と判断されたので登所（園）いたします。

令和 年 月 日

保護者氏名